

折々の記 No179 : 一億総白痴化現象！

(H23/8/24 記)

世の中は狂ってしまったのだろうか？ 毒舌家で警世の評論家であった大宅壮一氏が「テレビに至っては、紙芝居同様、否、紙芝居以下の白痴番組が毎日ずらりと列んでいる。ラジオ、テレビという最も進歩したマスコミ機関によって、『一億総白痴化』運動が展開されていると言って好い。」と週刊東 京 1 9 5 7 年 2 月 2 日号で述べた一億総白痴化が極めて早い速度で進行しているようだ。



昨夜からテレビやラジオはタレント島田伸助の突然の引退宣言に騒然となっている。淡々と報道すれば良いではないか？

そもそも芸能界とやくざ世界との癒着は今なお新しい問題であり、根が深いことを窺わせる。発覚したのであるならば（発覚しなければ良いという訳ではないが・・・）、潔く引退すべきは当然である。それを何故かくにまで騒ぐのか小生には理解し得ない。官房長官までがコメントするような事柄か？

民主党の代表選が 27 日告示、29 日投開票と確定し、30 日には次期首班指名が行われる見通しとなったようだが、代表選に関する報道内容を見てみると、何の為の代表選なのか、ピン트가ずれているように思えてならぬ。こちらこそ本当の総白痴化ではないか？

増税路線か否か、小沢氏の処遇をどうするか、大連立か否か等が争点とされているが、もっと根源的・根本的な事を争点にすべきである。取り沙汰されているような項目に争点を矮小化してはならない。

次期民主党代表は明らかに次期首相である。であるならば、今の日本が置かれている現状をどのように認識し、それらに対していかなる処方箋を示すのか。そしてそれを実行する力量があるかが問われるべきなのである。何故か小沢詣でがどうか些末なことを取り上げ、それを候補者に然も重大な事だと云わんばかりに質問して憚らないマスコミこそ糾弾されるべきだ。

然らば、我が国が直面している難問は何か？

- ①急激な円高の進行と企業の海外移転による経済の空洞化
- ②我が国国債の格付けの相次ぐ格下げによる日本に対する国際的な信用不安
- ③東日本大震災からの遅々たる復興
- ④我が国周辺における安全保障上の課題、ロシアの復権、中国の覇権主義的海外活動、予断を許さぬ朝鮮半島情勢
- ⑤歴史上例を見ないスピードで進行する少子高齢化社会への対応
- ⑥国と地方合わせた長期債務残高は、今年度末で 8 9 1 兆円、対 GDP 比では 1 8 4 % であり、このパーセンテージは先進国でダントツであり、これへの対応
- ⑦福島第一原発事故で明らかになった我が国の新エネルギー政策の策定等々枚挙に暇がない。

このような状況をどう認識しているのか、じっくりと聞いてみたいものだ。これを国難と云わず何と言おう。自民党も次期総選挙に何が有利かばかりを考えて、日本の国益を考えていない。なんと卑小な政治家か！！

（乱立）候補者は、堂々と己の処方箋を明示すべきであって、党員はそれらを至当に判断して国政を任せられる人物を選ぶべきだ。小沢詣でをしたり、引き抜き合戦を演じるこ

とに血眼になっている現状を見ると、誰にも国政を任せられないと思う。民主党代表選は、少なくとも国民の想いとは別なところでの戦いになっている。その点、各都道府県連にも投票権のある自民党の総裁選の方が、民意を反映していると思う。

誰も正論を述べなくなったのは嘆かわしい。これも一億総白痴化の然らしむところなのだろう。(了)